

学内グラント 報告書

平成24年度 学内グラント終了後報告書

脂肪細胞分化・骨芽細胞分化の2方向性分化で機能する アンチセンスRNAの解析

研究代表者 仲地 豊 (ゲノム医学研究センター)

研究成果リスト

論文

- 1) FANTOM Consortium and the RIKEN PMI and CLST (DGT) (Forrest AR, Kawaji H, Rehli M, Baillie JK, de Hoon MJ, Haberle V, et al (著者261人中159番目)). A promoter-level mammalian expression atlas. *Nature* 2014;507(7493):462-70.

学会発表

- 1) 仲地豊, 水野洋介, 徳澤佳美, 山下泉, 八塚由紀子,

岡崎康司. CAGELOH (CAGE Loci Oriented Heatmap) によるマウス間葉系幹細胞の脂肪細胞・骨芽細胞分化トランスクリプトーム統合解析. 第36回日本分子生物学会年会, 3P-0622, 2013年12月5日, 神戸

講演

- 1) 仲地豊. 脂肪細胞及び骨芽細胞への2方向性分化で機能する制御因子の探索, 東京大学大学院理学系研究科人類学演習IV・談話会, 2013年11月29日, 東京

シミュレーションによる関節リウマチ末梢血の サイトカイン抑制機構の理解

研究代表者 三由 文彦 (大学病院 リウマチ膠原病科)

研究成果リスト

学会発表

- 1) 三由文彦, 本根杏子, 箕田清次, 三村俊英. infliximab投与前RA患者の臨床検査データを用いた新規効果判定予測法の開発, 第57回日本リウマチ学会総会・学術集会/第22回国際

- リウマチシンポジウム, 平成25年4月, 京都
- 2) Miyoshi F, Honne K, Minota S, Okada M, Ogawa N and Mimura T. A novel method predicting good response using only background clinical data in RA patients treated with infliximab, 2013 ACR/ARHP Annual Meeting, October, 2013, San Diego, USA